

# 現場指揮支援システム

現場情報をリアルタイムで集約、整理、可視化し  
AI 判断支援で指揮活動をサポート

- 火災現場のリアルタイム情報を集約し、高度な情報処理を通して各デバイスに必要情報を出力し消防指揮活動を支援するシステム
- 隊員の安全管理・救急トリアージ管理・要救助者管理・車両管理・AI判断支援、建物データなどとの連携により、未来社会における最適な消防活動を提案
- 本システムをEV指揮車に搭載、車内での操作に加えて、大型タッチモニターを備えた移動式の指揮卓でも表示・操作することで現場の指揮活動を支援



現場指揮支援システムイメージ



# EV 指揮車

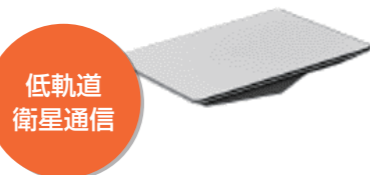
## 現場指揮支援システムを搭載した次世代の EV 指揮車



- 指揮隊2名が乗車し、オペレータが車内で指揮システムを操作
- 指揮判断に必要な現場のリアルタイム情報を取得し表示
- 情報収集及び現場ハブとして情報分析オペレーション空間を提供
- 高性能PC / 3連ワイドディスプレイ / 低軌道衛星通信 / 5G搭載  
→ 既存通信インフラが停止した場合にも使用可能



Command Monitor



低軌道衛星通信



指揮卓

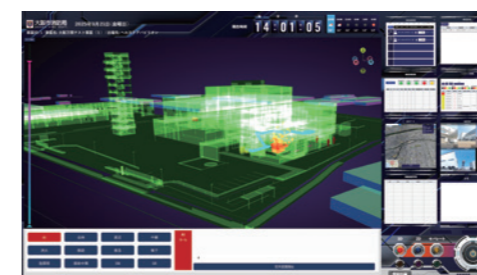
### 主要諸元

- ・ 全長：5,450mm ・ 全幅：1,900mm ・ 全高：2,930mm ・ 乗員：2名 ・ 車両重量：3,480kg
- ・ ベース車両：EV Motors Japan E1 ・ バッテリー容量：59.52kWh (Lithium ion)
- ・ 走行距離：220km ・ 免許：普通自動車第一種運転免許

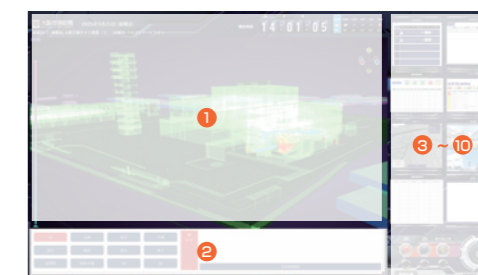
# 指揮卓

## AI を活用した現場指揮支援システムにより、迅速かつ安全な現場指揮を実現する DX 指揮卓

- 指揮車内に格納されており、到着後、指揮隊長に自動追尾で走行
- 3D建物データをベースにリアルタイムの要救助者の位置、消防隊員の情報、車両の位置、火点情報を表示
- 要救助者の管理、救急トリアージの管理をアプリ上で行うことが可能
- AIエンジンによる判断支援(音声質問に呼応)機能を搭載
- 55インチ、4K、タッチモニター、画面の角度を調整可能



表示画面



- ① 戦術メイン
- ② メッセージ (AI 支援)
- ③ 隊員情報管理
- ④ モビリティ管理
- ⑤ 要救助者管理
- ⑥ トリアージ管理
- ⑦ 都市データ
- ⑧ 映像管理
- ⑨ 活動履歴
- ⑩ 手書きボード

### 主要諸元

- ・ 全長：1,300mm ・ 全幅：770mm ・ 全高：1,000mm ・ 重量：140kg
- ・ モニタサイズ：55inch ・ 最高速度：6km/h

# ウェアラブル装置

## 現場指揮支援システムと各隊員をコネクして、消防活動をサポートする 隊員用ウェアラブル装置

- スマートフォン・熱画像・可視カメラ・スピーカー・マイク・熱中症指数計を搭載した新たな隊員用ハンズフリー装具
  - スマートフォンには消防活動アプリを搭載し、指揮本部からの情報を届け現場活動をサポート
- ① 指揮隊長⇄隊員の音声テキスト化コミュニケーション
  - ② 要救助者までのルート表示
  - ③ 隊員のバイタル情報を用いた安全管理
  - ④ 救急トリアージアプリの搭載



救助隊

指揮卓